

- 1)藤吉康志、川島正行、大井正行、藤原忠誠、向笠康二郎 上庄拓哉、向笠康二郎、藤原忠誠：「オホーツク海沿岸帯状雲」のレーダーエコー特性 (1) (2009年 5月31日、日本気象学会春季大会)
- 2)大島慶一郎：「温暖化で変わるオホーツク海、流氷が減ると…」知床世界遺産センター開館記念講演 (2009年04月19日 斜里、環境省 知床世界遺産センター)
- 3)二橋 創平, 大島慶一郎, 木村詞明：AMSR-E データを用いたオホーツク海の熱塩フラックスデータセットの作成 (2009年11月17日、第32回極域気水圏シンポジウム)
- 4) 岩本勉之, 田村岳史, 大島慶一郎, 二橋 創平, AMSR-E を用いた北極海の熱フラックスと海氷生産量分布の見積り (2009年 11月26日、日本気象学会秋季大会)
- 5)大島和裕, 谷本陽一： CMIP3 気候モデルにおける北太平洋 10年規模変動の将来予測、 (2009年5月、日本気象学会春季大会)
- 6) 小野数也, 千貝健, 福士博樹, 中鉢健太, 坂岡桂一郎：CTD と LADCP の時刻を時間サーバで同期させる (2009年9月26日-9月28日、日本海洋学会秋季大会)
- 7)谷本陽一, 大島和裕：PDO, decadal-ENSO(ENSO)メトリックと気候場の比較について (2009年8月、環境省推進費 s-5-ミーティング)
- 8) 坂崎貴俊・藤原正智： WINDAS で観測された下部対流圏の風の日変動 (2009年9月11日、第3回赤道大気レーダーシンポジウム・第129回生存圏シンポジウム)
- 9)中村知裕, 磯田豊, 長澤真樹, 高木省吾, 三寺史夫：アリューシャン列島における潮流による内部波生成と鉛直混合 (2009年4月5日-9日、日本海洋学会春季大会)
- 10)中野渡 拓也, 三寺 史夫, 中村 知裕, 内本 圭亮, 大島 慶一郎：オホーツク海および亜寒帯西部における中層水の昇温トレンドの原因 (2009年9月25日-29日、日本海洋学会秋季大会)
- 11)中村知裕, 西岡純, 三寺史夫, 川合美千代, 三角和弘, 津旨大輔：オホーツク海におけるCFCの取り込み：ブライン排出と千島列島域潮汐混合の影響 (2009年9月25日-29日、日本海洋学会秋季大会)
- 12) 上原裕樹, Andrey Kruts, Yury Volkov, 中村知裕, 西岡純, 小埜恒夫, 三寺史夫：オホーツク海における水温極小層の経年変動—FERHRI 収集資料を用いて— (2009年9月25日-29日、日本海洋学会秋季大会)
- 13) 二橋 創平, 中里 春香, 大島 慶一郎：オホーツク海の海氷後退と海氷—海洋アルベドフィードバック (2009年9月28日、日本海洋学会秋季大会)
- 14)大島和裕, 立花義裕, 小木雅世, 岩本勉之, 本田明治：オホーツク海の淡水収支-再解析データを用いたP-Eの見積もり (2009年12月、「両極異変が全球気候変動へ及ぼす遠隔作用についての観測的研究」研究集会)
- 15)大島慶一郎・中野渡拓也・若土正暁・Riser, S. C.："オホーツク海の低塩化とその海氷・高密度水生成弱化との関係"：(2009年4月7日、日本海洋学会春季大会)
- 16)上原裕樹, A.Kruts, Y.Volkov, 中村知裕, 西岡純, 小埜恒夫, 三寺史夫：オホーツク海の

等密度面気候値データセットの構築—FERHRI 収集資料を用いて— (2009年4月5日-9日、日本海洋学会春季大会)

17) 上庄拓哉、川島正行、藤吉康志 : オホーツク海沿岸帯状雲の成因と構造(2009年12月22日、日本気象学会北海道支部研究発表会)

18) 上庄拓哉、川島正行、藤吉康志 : オホーツク海沿岸帯状雲の特徴と分類
2009年11月22-24日、日本気象学会秋期大会)

19) 大島慶一郎、深町康、青木茂、清水大輔、田村岳史、北出裕二郎、平野大輔、牛尾収輝、橋田元、吉川久幸、中岡慎一郎 : ケープダンレープロジェクト - 新たに発見された南極底層水とそれに関わる海氷生産の直接観測 - (2009年11月17日、第32回極域気水圏シンポジウム)

20) 藤原忠誠、山下和也、中西幹郎、藤吉康志 : ドップラーライダーで検出した Dust devil の特徴 (2009年5月28-31日、日本気象学会春季大会)

21) 藤原忠誠、山下和也、中西幹郎、藤吉康志 : ドップラーライダーで検出した Dust devil の特徴 (2009年9月2-4日、日本流体力学会2009年大会)

22) 梅原章仁、川島正行、藤吉康志 : ドップラーライダーにより観測した中層雲雲底における特異構造の解析 (2009年12月22日、日本気象学会北海道支部)

23) 青木篤史、川島正行、藤吉康志 : 雨縞の研究 (1) - 最大粒径に着目して - 国内研究集会 (2009年11月22-24日、日本気象学会秋期大会)

24) 青木篤史、川島正行、藤吉康志 : 雨縞を構成する雨滴の粒径分布特性 (2009年12月22日、日本気象学会北海道支部)

25) 北出裕二郎・平野大輔・大島慶一郎・深町康 : 海鷹丸によりダンレー沖で観測された深底層水の特性と海洋微細構造(2009年11月17日、第32回極域気水圏シンポジウム)

26) 中村知裕 : 海底地形上の潮流により生成される内部重力波とその碎波 : アリューシャン列島アムチトカ海峡の場合 (2009年2月23-24日、第7回HSSワークショップ)

27) 藤原忠誠、山下和也、藤吉康志 : 海風前線上に発生した Dust devil のドップラーライダー観測 (2009年5月28-31日、日本気象学会春季大会)

28) 笹島雄一郎、羽角博康、中村知裕 : 海洋-海氷結合モデルで見られたオホーツク海沖合での海氷生産について (2009年9月25日-29日、日本海洋学会秋季大会)

29) 中村知裕 : 環オホーツク圏領域気候モデル : 98年夏季のオホーツク高気圧 国内ワークショップ (2009年3月5-6日、環オホーツク地域における気候変動・環境変動のモデリングと予測可能性に関するワークショップ(II))

30) 藤原正智、長谷部文雄、塩谷雅人、Voemel Holger、荻野慎也、岩崎杉紀、西憲敬、柴田隆、清水健作、Valverde-Canossa Jessica、Selkirk Henry B.、Oltmans Samuel J. : 気球搭載水蒸気計により観測された熱帯下部成層圏の水蒸気の季節~長期変動 (2009年5月21日、日本地球惑星科学連合2009年大会)

- 31)藤原正智・長谷部文雄・塩谷雅人・Holger Voemel・荻野慎也・岩崎杉紀・西憲敬・柴田隆・清水健作・西本絵梨子・Jessica Valverde-Canossa・Henry Selkirk・Samuel Oltmans：気球搭載水蒸気計により観測された熱帯下部成層圏の水蒸気の季節～長期変動（2009年9月11日、第3回赤道大気レーダーシンポジウム・第129回生存圏シンポジウム）
- 32)坂崎貴俊・藤原正智：MUレーダーおよび全球再解析データで観測された上部成層圏・下部成層圏の風の日変動（2009年5月21日、日本地球惑星科学連合2009年大会）
- 33)坂崎貴俊・藤原正智：MUレーダーを用いた下部成層圏・上部対流圏の風の日変動の解析（2009年2月26-27日、第23回大気圏シンポジウム）
- 34)川口 悠介, 三寺 史夫, 二橋 創平, 大島 慶一郎：巨大沿岸ポリニアの形成機構に関する研究（2009年4月7日、日本海洋学会春季大会）
- 35)深町 康、大島 慶一郎、青木 茂、北出 裕二郎、田村 岳史：係留観測による南極海ケープダンレー沖における南極底層水の変動について（2009年11月17日、第32回極域気水圏シンポジウム）
- 36)大島慶一郎, 深町康, 青木茂, 清水大輔, 田村岳史, 小野数也, 牛尾収輝, 橋田元, 吉川久幸, 北出裕二郎, 平野大輔：係留系による、未知の南極底層水と海水生産量・厚さの直接観測（2009年12月10日、第3回南極観測シンポジウム）
- 37)谷本陽一・時長宏樹・謝尚平：黒潮・黒潮続流における気圧極小（2009年10月、平成22年度京都大学防災科学研究所研究集会「異常気象と長期変動」）
- 38)古関俊也、谷本陽一、渡部雅浩、大島和裕：黒潮続流域における中規模 SST 偏差に対する大気応答～水惑星実験（2009年1月、黒潮続流域での海面フラックスに関する研究集会（名古屋大学地球水循環研究センター共同研究研究集会））
- 39)江淵 直人・佐野 稔・坂東 忠男：宗谷海峡域における海洋レーダ観測データのミズダコ漁業への応用、2009年 9月28日、日本海洋学会）
- 40) 江淵 直人・佐野 稔・坂東 忠男：宗谷海峡域における海洋レーダ観測データのミズダコ漁業への応用（2009年11月20日、海洋理工学会）
- 41)三寺史夫, 内本圭亮, 中村知裕：宗谷暖流の hydraulics (II)（2009年9月25日-29日, 京都大学吉田キャンパス 2009年度日本海洋学会秋季大会）
- 42)三寺史夫, 内本圭亮, 中村知裕：宗谷暖流の hydraulics - 冷水帯形成のメカニズム（2009年4月5日-9日、日本海洋学会春季大会）
- 43)大島慶一郎・森島秀太・清水大輔・江淵直人・深町康・若土正暁・Volkov, Y.：宗谷暖流の構造・流量の季節・経年変動（2009年9月28日、日本海洋学会秋季大会）
- 44) 江淵 直人・深町 康・大島 慶一郎：宗谷暖流の短周期変動（2009年12月16日、研究集会「海洋レーダーを用いた海況監視システムの開発と応用」）
- 45) 金田祐介、川島正行、藤吉康志：水蒸気の酸素・水素同位体の時間変動特性国内学会（2009年12月22日、日本気象学会北海道支部研究発表会）

- 46)内本圭亮 , 中村知裕, 西岡純, 三寺史夫, 川合美千代, 三角和弘, 津旨大輔 : 西部北太平洋での CFC シミュレーション (2009 年 4 月 5 日-9 日、日本海洋学会春季大会)
- 47)谷本陽一 (コンビナー)・時長宏樹・謝尚平 : 西部北太平洋における大気海洋相互作用 (2009 年 8 月、大槌シンポジウム)
- 48)久保川陽呂鎮・藤原正智・那須野智江・佐藤正樹 : 全球・非静力学大気モデル (NICAM) を用いた熱帯対流圏界面領域の解析 (2009 年 9 月 29 日、北海道大学 熱帯気象研究会)
- 49)久保川陽呂鎮・藤原正智・那須野智江・佐藤正樹 : 全球・非静力学大気モデル NICAM の 2006 年 12 月 MJO 実験データを用いた対流圏界面領域の解析(1) (2009 年 11 月 25 日~27 日、日本気象学会秋季大会)
- 50)谷本陽一, 梶谷卓志, 岡島秀樹, 大島和裕, 謝尚平 : 大西洋赤道冷水舌が南アメリカ降水帯に与える影響 : 気候モデルにおける再現性 (2009 年 11 月、日本気象学会秋季大会)
- 51)江淵 直人・深町 康・大島 慶一郎・若土 正暁 : 短波海洋レーダによる宗谷暖流観測 (2009 年 9 月 3 日、札幌 研究集会「宗谷暖流をはじめとした対馬暖流系の変動メカニズム」)
- 52)屋良由美子, 藤井賢彦, 山中康裕, 岡田直資, 山野博哉, 大島和裕 : 地球温暖化に伴う水温上昇がサンゴ分布に及ぼす影響評価 (2009 年 4 月、日本海洋学会春季大会)
- 53)屋良由美子, 藤井賢彦, 山中康裕, 岡田直資, 山野博哉, 大島和裕 : 地球温暖化に伴う水温上昇がサンゴ分布に及ぼす影響評価 (2009 年 5 月、日本地球惑星科学連合 2009 年大会)
- 54)屋良由美子, 藤井賢彦, 山中康裕, 岡田直資, 山野博哉, 大島和裕 : 地球温暖化に伴う水温上昇がサンゴ分布の北限に及ぼす影響評価とその不確実性 (2009 年 9 月、日本海洋学会秋季大会)
- 55)屋良由美子, 藤井賢彦, 山中康裕, 岡田直資, 山野博哉, 大島和裕 : 地球温暖化に伴う水温上昇がサンゴ分布の北限に及ぼす影響評価とその不確実性 (2009 年 11 月、日本サンゴ礁学会第 12 回大会)
- 56)谷本陽一, 大島和裕 : 中緯度大気海洋系 10 年スケール変動の再現性とその将来変化に関する研究 (2009 年 4 月 環境省推進費 s-5-ミーティング)
- 57)古関俊也、渡部雅浩、谷本陽一、大島和裕 : 中規模 SST 偏差に対する大気応答へ水惑星実験へ (2009 年 8 月、大槌シンポジウム)
- 58)江淵 直人・佐野 稔・坂東 忠男 : 潮流推算表の開発 ー海洋レーダ観測データのミズダコ漁業への応用ー (2009 年 2 月 9 日、札幌 新たな農林水産施策を推進する実用技術開発事業第 4 回推進会議)
- 59)中村知裕, 三寺史夫, 小埜恒夫 : 冬季親潮前線付近のサブメソスケール過程と表層への栄養塩供給 (2009 年 9 月 25 日-29 日、日本海洋学会秋季大会)
- 60)小埜恒夫, 中村知裕, 三寺史夫 : 冬季親潮前線付近の局地的鉛直混合による栄養塩供給機構 (2009 年 9 月 25 日-29 日、日本海洋学会秋季大会)

- 61)谷本陽一：冬季西部北太平洋の水温フロントと下層大気の関係（2009年1月、黒潮続流域での海面フラックスに関する研究集会（名古屋大学地球水循環研究センター共同研究集会））
- 62)田村 岳史, 大島 慶一郎, Massom, R. A.：東南極ケープダンレーポリニヤの形成・変動メカニズム（2009年11月17日-11月18日、第32回極域気水圏シンポジウム）
- 63) 宮野なつみ, 大島慶一郎, 二橋 創平, 田村岳史：南極ケープダンレーポリニヤにおける AMSR-E 薄氷厚アルゴリズムの開発と海氷生産量の見積り（2009年11月17日、第32回極域気水圏シンポジウム）
- 64)深町 康・Stephen R. Rintoul・John A. Church・青木 茂・Serguei Sokolov・Mark A. Rosenberg・若土 正暁：南極海インド洋セクターのケルゲレン海台東側斜面域における南極底層水流量の時間変動(2009年9月26日、日本海洋学会秋季大会)
- 65)青木茂・永延幹男・石丸隆・Rintoul, Stephan R.・ Bindoff, Nathaniel L.・大島慶一郎：南極海陸棚域における海水の酸素安定同位体比とその地域的分布特性について(2009年9月26日、日本海洋学会秋季大会)
- 66)青木茂, 永延 幹男, 石丸 隆, Rintoul, Stephan R., Bindoff, Nathaniel L., 大島慶一郎：南極海陸棚域における海水の酸素安定同位体比とその地域的分布特性について（2009年11月17日、第32回極域気水圏シンポジウム）
- 67)青木茂, 永延幹男, 石丸隆, S.R.Rintoul, N.L.Bindoff, 大島慶一郎：南極海陸棚域における海水の酸素安定同位体比とその地域的分布特性について（2009年9月26日、日本海洋学会）
- 68)大島慶一郎, 牛尾収輝, 橋田元, 青木茂, 深町康, 豊田威信, 清水大輔, 二橋創平, 田村岳史, 小野数也, 榎本浩之, 舘山一孝：南極巨大沿岸ポリニヤにおける係留系等による海氷高精度観測(2009年12月10日、第3回南極観測シンポジウム)
- 69)豊田威信, Haas, C., 田村岳史：南極氷縁域における比較的小さな氷盤の大きさ分布の特徴、(2009年4月7日、日本海洋学会春季大会)
- 70)田村岳史, 大島慶一郎, 二橋創平：南大洋における海氷域熱塩フラックスデータセットの作成（2009年4月5日-4月9日、日本海洋学会春季大会）
- 71)中村佳代, 青木茂, 豊田威信, 青山雄一：南大洋高緯度域における降雪の酸素安定同位体比の緯度分布と季節変化（2009年11月17日、第32回極域気水圏シンポジウム）
- 72)中村佳代, 青木茂, 豊田威信, 青山雄一：南大洋高緯度域における酸素安定同位体比の緯度分布と季節変化（2009年11月17日、気水圏シンポジウム）
- 73)豊田威信, Haas, C., 田村岳史：晩冬期南極氷縁域における氷盤分布の特徴（2009年11月17日、第32回極域気水圏シンポジウム）
- 74)三角和弘, 津旨大輔, 吉田義勝, 芳村毅, 内本圭亮, 中村知裕, 西岡純, 三寺史夫：北太平洋中層における鉄の水平輸送～ 数値モデルによる考察 ～（2009年4月5日-9日、2009年度日本海洋学会春季大会）

- 75)Hoshiya, Y., Yamanaka, Y., Mizuta, G., and Irino, T. : 理想化した河口沿岸海域における河川起源懸濁物質の堆積について (2009年9月、日本海洋学会秋季大会)
- 76)嶋田宇大・山崎孝治 : エネルギー収支と渦位から見た Polar low の発達メカニズム(2009年5月31日、日本気象学会春季大会)
- 77)吉田康平・山崎孝治・Kevin P. Hamilton : 熱帯対流圏界面付近における準二年振動の構造 (2009年11月25日、日本気象学会秋季大会)
- 78) 宇田川佑介・山崎孝治・立花義裕 : 南半球中高緯度における大気大循環場はなぜシフトするのか? (2009年11月27日、日本気象学会秋季大会)
- 79)吉田康平・山崎孝治 : 熱帯対流圏界面領域における vertical eddy heat flux の役割 (2009年9月29日、熱帯気象研究会)
- 80)吉田康平・山崎孝治 : 熱帯対流圏界面付近における準二年周期振動の構造 (2009年9月29日、熱帯気象研究会 2009)
- 81)吉田康平・山崎孝治 : Role of vertical eddy heat flux in the response of tropical tropopause temperature to changes in tropical sea- surface temperature (2009年11月2日、IFES-GCOE Sustainability Weeks 2009)
- 82)吉田康平・山崎孝治 : 熱帯対流圏循環のデータ間比較 (2009年10月29日、異常気象と長期変動研究集会)
- 83)吉田康平・山崎孝治 : 2009年1月の成層圏突然昇温に対する熱帯対流圏界層の応答 (2009年12月23日、両極異変が全球気候変動へ及ぼす遠隔作用についての観測的研究研究集会)
- 84)Udagawa Yusuke, Yamazaki Koji, and Tachibana Yoshihiro : The shifts of mid-high latitude large-scale atmospheric mode in the Southern Hemisphere (2009年11月2日 IFES-GCOE Sustainability Weeks 2009)
- 85)宇田川佑介・山崎孝治・立花義裕 : 南半球中高緯度における大気大循環モードのシフト (2009年11月17日、極域気水圏シンポジウム)
- 86)宇田川佑介・山崎孝治・立花義裕 : 南半球環状モードと PSA パターンの変動性の変化とその要因 (2009年12月23日、両極異変が全球気候変動へ及ぼす遠隔作用についての観測的研究研究集会)
- 87)土門優介, 宮崎和幸, 稲飯洋一 : データ同化を利用した流跡線計算高精度化の試み (2009年5月28-31日、日本気象学会春季大会)
- 88)稲飯洋一, 長谷部文雄, 清水健作, 藤原正智, Holger Voemel : GPS 高度データの利用によるラジオゾンデ気圧気温データの補正 (2009年5月28-31日、日本気象学会春季大会)
- 89) 石田圭佑, 長谷部文雄, 廣川淳 : 輸送過程に起因する東アジア域広域大気質変動の観測的記述 (2009年10月20-22日、第15回大気化学討論会)
- 90) 榊裕太, 長谷部文雄, 廣川淳 : 季節変化・日変化に基づく日本周辺地表オゾン変動特性の抽出 (2009年10月20-22日、第15回大気化学討論会)
- 91)平田貴文 : クロロフィルを超えた海色のリモートセンシング : 植物プランクトン群集構

造の推定 (2009年12月21-22日 東大海洋研シンポジウム「新しい海洋区分の創設に向けた生物地球化学と生態学の統合研究」)

92) 須股浩, : 生態系モデル~高解像度化と今後の展開 (2009年12月21-22日、東大海洋研シンポジウム「新しい海洋区分の創設に向けた生物地球化学と生態学の統合研究」)

93) 屋良由美子, 藤井賢彦, 山中康裕, 岡田直資, 山野博哉, 大島和裕 : 地球温暖化に伴う水温上昇がサンゴ分布の北限に及ぼす影響評価とその不確実性 (2009年11月26-29日、2009年度サンゴ礁学会第12回大会)

94) 志藤文武, 伊藤進一, 奥西武, 安倍大介, 亀田卓彦, 上野康弘, 巢山哲, 中神正康, 岸道郎, 山中康裕 : サンマの漁期前調査結果と衛星データを用いた回遊シミュレーション (2009年11月17-19日、2009年度水産海洋学会研究発表大会)

95) 山中康裕 : 海洋生態系将来予測のための海洋環境シミュレーション研究 (2009年11月12日、JST-CREST「マルチスケール・マルチフィジックス現象の統合シミュレーション」研究領域平成21年度公開シンポジウム)

96) 須股浩, 橋岡豪人, 岡田直資, 相田真希, 吉江直樹, 坂本天, 鈴木立郎, 山中康裕 : 海洋表層の栄養塩収支に対する渦輸送の効果 (2009年9月25-29日、日本海洋学会秋季大会)

97) 石田明生, 笹井義一, 増田良帆, 山中康裕, 佐々木英治 : 仮想トレーサーを用いたアラビア海における水塊輸送の研究(II) (2009年9月25-29日、日本海洋学会秋季大会)

98) 橋岡豪人, 相田真希, 山中康裕 M. Vogt, E. Buitenhuis, C. Le Quere, S. Alvain, O. Aumont, L. Bopp, S. Doney, I. Lima : 海洋生態系モデルの国際的な相互比較研究 (2009年9月25-29日、日本海洋学会秋季大会)

99) 奥西武, 吉江直樹, 須股浩, 重光雅仁, 橋岡豪人, 山中康裕, 伊藤進一 : 複数観測地点データを用いた低次生態系モデルの最適パラメータ推定 (2009年9月25-29日、日本海洋学会秋季大会)

100) 屋良由美子, 藤井賢彦, 山中康裕, 岡田直資, 山野博哉, 大島和裕 : 地球温暖化に伴う水温上昇がサンゴ分布の北限に及ぼす影響評価とその不確実性 (2009年9月25-29日、日本海洋学会秋季大会)

101) 干場康博, 山中康裕, 水田元太, 入野智久 : 理想化した河口沿岸海域における河川起源懸濁物質の堆積について (2009年9月25-29日、日本海洋学会秋季大会)

102) 重光雅仁, 山中康裕, 渡辺豊, 岡田直資, 前田亘宏, 乗木新一郎 : 海洋沈降粒子中の有機炭素安定同位体比の季節変動要因解析 (2009年9月25-29日、日本海洋学会秋季大会)

103) 橋岡豪人, 屋良由美子, 坂本天, 山中康裕 : 地球温暖化が海洋の低次生態系へ与える影響 ~気候モデルと生態系モデルによる予測から~ (2009年6月27日、日本応用藻類学会)

104) 山中康裕 : 気候変動から水産資源までを表現した統合海洋生態系モデルによる将来予測 (2009年5月16-21日、日本地球惑星科学連合2009年大会)

105) 山本彬友, 山中康裕, 田近英一 : メタンハイドレートから放出されたメタンバブルに関するモデリング (2009年5月16-21日、日本地球惑星科学連合2009年大会)

- 106) 屋良由美子, 藤井賢彦, 山中康裕, 岡田直資, 山野博哉, 大島和裕: 地球温暖化に伴う水温上昇がサンゴ分布に及ぼす影響評価 (2009年5月16-21日、日本地球惑星科学連合2009年大会)
- 107) 須股浩, 橋岡豪人, 岡田直資, 相田真希, 吉江直樹, 坂本天, 鈴木立郎, 山中康裕: 渦許容全球モデルによる低次生態系の経年変動実験 (2009年4月5-9日、日本海洋学会春季大会)
- 108) 奥西武, 伊藤進一, 吉江直樹, 山中康裕, 須股浩, 屋良由美子, 橋岡豪人, 坂本天: 海洋生態系-水産資源モデルによる地球温暖化の影響予測 (2009年4月5-10日、日本海洋学会春季大会)
- 109) 吉江直樹, 伊藤進一, 小松幸生, 奥西武, 小埜恒夫, 田所和明, 日高清隆, 長谷川徹, 齊藤宏明, 山中康裕: 生態系モデル eNEMURO による日本周辺五海域の低次生態系群集構造の再現 (2009年4月5-11日、日本海洋学会春季大会)
- 110) 志藤文武, 伊藤進一, 奥西武, 安倍大介, 亀田卓彦, 上野康弘, 巢山哲, 中神正康, 岸道郎, 山中康裕: 衛星データを用いたサンマの回遊モデル (2009年4月5-12日、日本海洋学会春季大会)
- 111) 屋良由美子, 藤井賢彦, 山中康裕, 岡田直資, 山野博哉, 大島和裕: 地球温暖化に伴う水温上昇がサンゴ分布に及ぼす影響評価 (2009年4月5-13日、日本海洋学会春季大会)
- 112) 笹井義一, 石田明生, 山中康裕, 佐々木英治: 渦解像海洋大循環モデル(OFES)を用いたSAMWとAAIWの形成と分布 (2009年4月5-14日、日本海洋学会春季大会)
- 113) 石田明生, 笹井義一, 増田良帆, 山中康裕, 佐々木英治: 仮想トレーサーを用いたアラビア海における水塊輸送の研究 (2009年4月5-15日、日本海洋学会春季大会)
- 114) 山中康裕: GCOE 統合フィールド環境科学(IFES-GCOE)のキャリアパス支援 (2009年3月17日-21日、第56回日本生態学会大会)
- 115) 山中康裕: IFES-GCOEにおける人材育成 (2009年1月30日、若手人材育成シンポジウム「SynFOSTER 2009」)
- 116) 土門優介, 宮崎和幸, 稲飯洋一, 長谷部文雄: データ同化を利用した流跡線計算高精度化の試み (2009年5月28-31日、日本気象学会春季大会)
- 117) 稲飯洋一, 長谷部文雄, 清水健作, 藤原正智, Holger Voemel: GPS 高度データの利用によるラジオゾンデ気圧気温データの補正 (2009年5月28-31日、日本気象学会春季大会)
- 118) 石田圭佑, 長谷部文雄, 廣川淳: 輸送過程に起因する東アジア域広域大気質変動の観測的記述 (2009年10月20-22日、第15回大気化学討論会)
- 119) 榊裕太, 長谷部文雄, 廣川淳: 季節変化・日変化に基づく日本周辺地表オゾン変動特性の抽出 (2009年10月20-22日、第15回大気化学討論会)
- 120) Mitsudera, H., and K. Uchimoto: Wind- and buoyancy-driven overturning circulation in the Sea of Okhotsk (2009年5月19日、地球物理惑星科学連合)
- 121) 三寺史夫: オホーツク海のモデリング (2009年9月25日、海洋学会シンポジウム)

- 122)三寺史夫・内本圭亮・中村知裕：宗谷暖流の hydraulics (II) (2009年 9/25～9、日本海洋学会秋季大会)
- 123)内本圭亮・中村知裕・西岡純・三寺史夫・川合美千代・三角和弘・津旨大輔：
オホーツク海における C F C の取り込み (2009年 9/25～9、日本海洋学会秋季大会)
- 124) 西垣肇・三寺史夫：よどみ域を伴って海底斜面から離れる西岸域界流：黒潮直進路の力学 (2009年 9/25～9、日本海洋学会秋季大会)
- 125)上原裕樹・Andrey Kruts(FERHRI)・Yury Volkov(FERHRI)・中村知裕・西岡純・小埜恒夫・三寺史夫：オホーツク海における水温極小の経年変動—FERHRI 収集資料を用いて (2009年 9/25～9、日本海洋学会秋季大会)
- 126)内本圭亮・中村知裕・西岡純・三寺史夫・川合美千代・三角和弘・津旨大輔：
西部北太平洋での C F C シミュレーション (2009年 4/5～9、日本海洋学会春季大会)
- 127)三角和弘・津旨大輔・吉田義勝・芳村毅・内本圭亮・中村知裕・西岡純・三寺史夫：
北太平洋中層における鉄の水平輸送～数値モデルによる考察～ (2009年 4/5～9、日本海洋学会春季大会)
- 128)川口悠介・三寺史夫・二橋創平・大島慶一郎：巨大沿岸ポリニアの形成機構に関する研究 (2009年 4/5～9、日本海洋学会春季大会)
- 129)上原裕樹・A. Kruts・Y. Volkov・中村知裕・西岡純・小埜恒夫・三寺史夫：オホーツク海の等密度面気候値データセットの構築-FERHRI 収集資料を用いて- (2009年 4/5～9、日本海洋学会春季大会)
- 130) 三寺史夫・内本圭亮・中村知裕：宗谷暖流の hydraulics-冷水帯形成のメカニズム (2009年 4/5～9、日本海洋学会春季大会)
- 131)川島正行：寒冷前線降雨帯のコア-ギャップ構造の成因に関する数値実験(3) (2009年 5月 28日、日本気象学会春季大会)
- 132) 藤吉康志、川島正行、大井正行、藤原忠誠、向笠康二郎 上庄拓哉：「オホーツク海沿岸帯状雲」のレーダーエコー特性 (1) (2009年 5月 31日、日本気象学会春季大会)
- 133)金田祐介、川島正行、藤吉康志：水蒸気の酸素・水素同位体の時間変動特性 (2009年 12月 22日、日本気象学会北海道支部研究発表会)
- 134) 上庄拓哉、川島正行、藤吉康志：オホーツク海沿岸帯状雲の成因と構造 (2009年 12月 22日 日本気象学会北海道支部研究発表会)
- 135)Hoshiba, Y., Yamanaka, Y., Mizuta, G., and Irino, T.：理想化した河口沿岸海域における河川起源懸濁物質の堆積について (2009年 9/25～29、日本海洋学会秋季大会)